



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込みください。

e-mail で jimu@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

立教大学理学部物理学科教員

1. 教授または准教授 1名
2. (1) 立教大学理学部物理学科宇宙地球系物理学研究室
(2) 東京都豊島区西池袋 3-34-1
3. 地球大気圏・磁気圏を含めた太陽系惑星科学分野で、飛翔体ならびに地上観測・実験を通して研究を進めている方
4. 物理学科専門科目、大学院物理専門科目、ならびに全学共通カリキュラムの自然科学系分野科目を担当。卒業研究、大学院生の研究指導
5. (1) 2011年4月1日
(2) 任期なし（定年は65歳）
6. 博士の学位を有する方
7. (1) 履歴書（連絡先、e-mail アドレス等を明記すること）(2) 研究業績リスト（査読誌、その他に分割すること）(3) 主要論文5編以内の別刷（コピー可）(4) 競争的資金導入実績リスト（特許等の実績も含んでも良い）(5) 研究業績の概要（2,000字程度）(6) 今後の研究・教育の抱負（1,500字程度）(7) 照会可能な方2名の氏名・所属・連絡先（電話、e-mail アドレス等）
8. 2010年8月26日（木）（必着）
9. (1) 〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1
立教大学理学部物理学科 田中秀和
(2) 同上 北本俊二 Tel: (03)3985-2419,
e-mail: kitamoto@rikkyo.ac.jp
10. 封筒に「応募書類（太陽系惑星科学）在中」と朱

書し、簡易書留で送付のこと。応募書類は原則として返却しません。必要に応じて面接を行うことがあります。提出していただいた個人情報は、教員任用業務、連絡、手続きのためのものであり、他の目的に使用することはありません。

京都大学大学院理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻 教員公募

1. 教授 1名
2. (1) 物理学第二教室 宇宙線研究室
(2) 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
3. 宇宙線物理学（実験）
4. 同上
5. (1) なるべく早い時期
(2) なし
6. 特になし
7. ○履歴書（メールアドレス、着任可能時期を明記）
○研究業績リスト（原著、総説、学会発表別）
○主要論文5編以内の別刷（コピー可、各3部）
○これまでの研究業績の概要○今後の研究計画○意見を伺える方2名以内（氏名、住所、電話番号、e-mail アドレス）
8. 2010年9月10日（金曜日）（必着）
9. (1) 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻長 國広梯二
(2) 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻 物理学第二教室
谷森 達 Tel: 075-753-3858
e-mail: tanimori@cr.scphys.kyoto-u.ac.jp
10. 応募上の注意：封筒に「宇宙線（実験）人事応募書類在中」と朱書し、簡易書留で送付のこと。なお、応募書類は返却しません。

公立大学法人大阪府立大学理学系研究科 専任教員

1. 准教授 1名

2. (1) 理学系研究科 物理学専攻
(2) 大阪府堺市
3. 電波天文学
4. 電波波長域を中心に観測的研究を進める方を募集します。効率的な観測を行うためのシステム開発等も積極的・戦略的に推進していただくことを求めます。本学の宇宙物理学の教員と連携して研究を推進し、大学院および学部教育（物理学実験、力学、宇宙物理学等）も担当していただきます。
5. (1) 平成 23 年 4 月 1 日（予定）
(2) 任期: 定めない
6. (i) 着任時に博士の学位を有する者
(ii) 学部、博士前期課程及び博士後期課程の教育研究指導を担当できる者
(iii) 学校教育法第 9 条に規定する欠格条項に該当しない者
7. (1) 履歴書（共通様式の履歴書様式（様式 1）又は同様式に準じて作成してください）
(2) 教育歴（共通様式の教育歴様式（様式 2）又は同様式に準じて作成してください）
(3) 研究業績書（共通様式の研究業績様式（様式 3）又は同様式に準じて作成してください。論文リストは査読付きとそれ以外に分類。国際学会講演・招待講演、学会活動などの社会貢献も含む）
(4) 主要な論文 5 編以内の別刷り（コピーでも可）
(5) (4) で提出した論文の概要（各 200 字 - 400 字程度）
(6) 現在までの研究概要（2,000 字程度）
(7) 今後の研究計画（2,000 字程度）
(8) 教育に対する方針と抱負について（2,000 字程度）
(9) 過去 5 年間の外部研究費取得状況
(10) 問い合わせのできる方 2 名の連絡先
※提出書類は A4 版とし、各書類に氏名を記入してください。
※原則として、提出書類は返却しません。
※様式を定めているものについて、独自の書式により提出する場合は、各様式の記載項目を満たすよう作成してください。
8. 平成 22 年 9 月 29 日（水）（必着）
9. (1) 公立大学法人大阪府立大学総務部人事課
〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1 番 1 号
※封筒の表に「理学系研究科物理学専攻准教授応募書類在中」と朱筆し、「書留」で郵送してください。

- (2)〔専門分野関係〕
大阪府立大学理学系研究科 物理学専攻
教授 大西利和
Tel: 072-254-9727（直通）
e-mail: ohnishi@p.s.osakafu-u.ac.jp
〔募集全般〕
公立大学法人大阪府立大学総務部人事課
Tel: 072-254-9105（直通）
10. 年齢・経歴に応じた業績及び将来性について書類審査を行い、必要に応じて面接及びプレゼンテーションを行います。
選考結果については平成 23 年 1 月頃までに郵送で通知する予定です。
なお、面接及びプレゼンテーションのために要する経費は、応募者の負担とします。
11. 詳細・様式は、次の公式ホームページをご覧ください。
http://www.osakafu-u.ac.jp/information/staff_01.html
給与・勤務条件等は、公立大学法人大阪府立大学の定める規程による。
本学では、現在、大学改革の一環として教育研究組織の改革に取り組んでいるところです。
そのため、改革の進捗状況により、所属及び担当授業科目については変更となることがありますので、予めご承知の上、応募くださるようお願いいたします。

千葉大学大学院 理学研究科 基盤理学専攻 物理学コース 女性教員募集要項

1. 助教 1 名
2. 大学院理学研究科 基盤理学専攻 物理学コース
3. 物理学。現在活動中の研究グループのいずれかと協力できる方が望ましい。（研究グループについては <http://physics.s.chiba-u.ac.jp/phys.html> を参照ください。）また、学部・大学院生の教育、及び、全学の一般物理教育を担当して頂く。
5. (1) 遅くとも平成 23 年 4 月 1 日
(2) なし
6. 博士の学位を有し、かつ研究者としての経験（ポスドクを含む）を有する女性。（博士課程在籍者は応募できません。）
7. ○履歴書 ○業績リスト ○主要論文別刷り 5 編以内（コピー可）○これまでの研究概要 ○着任後の教育・研究への抱負 ○照会可能者 2 名の氏名と連絡先
8. 2010 年 8 月 31 日（火）必着

9. (1) 〒263-8522 千葉県稲毛区弥生町 1-33
千葉大学大学院理学研究科基盤理学専攻物理学
学コース長 中田 仁
Tel: 043-290-3681
e-mail: nakada[at]faculty.chiba-u.jp

(2) 同上

10. 封筒に「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留で送付のこと。なお、応募書類は原則として返却しない。(補足事項: 応募書類は本選考以外の目的には使用致しません。)

(付記)

千葉大学では、平成 18 年度に「両立支援企画室」を開設し、平成 19 年度には、文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に、「支援循環型体制による女性研究者育成モデル」が採択され、女性研究者支援と両立支援を並行して積極的に推進してきました。

本公募は、平成 22 年度文部科学省科学技術振興調整費(女性研究者養成システム改革加速)事業に採択された本学提案課題「理系女性教員キャリア支援プログラム」による人事です。

理学・工学・農学分野における女性研究者の定着および活躍促進を目指す本プログラムでは、あえて女性のみを対象とする公募を行い、育つ能力と意欲を持つ優秀な女性研究者を本学の教員として迎えるものです(「男女雇用機会均等法」第 8 条(女性労働者に係る措置に関する特例)の規定により、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として女性に限定した公募を実施します。)。本プログラムでは、採用後 3 年度目まで、スタートアップ研究費の配分、研究支援要員の配置等による支援を行います。

国立天文台ハワイ観測所 研究員募集 (補償光学サイエンティスト)

- 補償光学サイエンティスト 1 名
- (1) 国立天文台ハワイ観測所
(2) アメリカ合衆国ハワイ州ヒロ市
- 補償光学、光波面計測、光波面情報処理、大気擾乱を通した光の伝播、観測装置開発などに関連する分野
- すばる望遠鏡レーザーガイド星補償光学系のコミッションングおよび補償光学系のデータ解析と性能評価、天文学あるいはエンジニアリングに関する研究開発
- (1) 決定次第でできるだけ早い時期

(2) 3 年。ただし任期の更新もありうる。

- 着任時点で天文学あるいは関係する分野の博士の学位を有するかまたは取得見込みの方、あるいは博士の学位と同等の研究歴をもつ方
- 提出書類: http://www.naoj.org/Announce/2010/06/10/j_index.html を参照してください。
- 2010 年 8 月 2 日(ハワイ日付、郵送の場合は消印有効)
- (1) オンライン <http://www.rcuh.com/>
Fax: +1-808-956-5022,
郵送 Director of Human Resources, Research Corporation of the University of Hawaii, 2530 Dole Street, Sakamaki Hall D-100, Honolulu, HI 96822, USA.
(国立天文台およびハワイ観測所ではありませんので、どうかご注意ください。)
- (2) 早野 裕
Tel: +1-808-934-5941,
e-mail: hayano@subaru.naoj.org
- ハワイ大学研究公社(RCUH)を通しての雇用となります。7. の URL を参照のうえ、英語で応募してください。
- 給与・勤務条件等は RCUH の定める規定によります。着任は米国就労ビザが取得できたあとになります。

人事公募結果

- 掲載号
- 結果(前所属)
- 着任時期

東京大学大学院理学系研究科天文学専攻教員

- 2009 年 7 月(第 102 巻 7 号)
- 林 正彦(国立天文台ハワイ観測所 教授)
- 2010 年 6 月 1 日

名古屋大学大学院理学研究科素粒子宇宙物理学専攻教員

- 2010 年 3 月(第 103 巻 3 号)
- 大藪進喜(国立天文台すばる観測所 Adaptive Optics Scientist)
- 2010 年 8 月 1 日

東京大学大学院理学系研究科 天文学教育研究センター教員

1. 2010年4月(第103巻4号)
2. 諸隈智貴(日本学術振興会特別研究員 国立天文台)
3. 2010年8月1日

研究助成

2011年度女性科学者に明るい未来をの会
第31回「猿橋賞」推薦の募集

2010年6月

女性科学者に明るい未来をの会

会長 米沢富美子

女性科学者に明るい未来をの会は、第31回猿橋賞の推薦の募集を開始いたしました。募集要項をホームページ <http://www.saruhashi.net/> に掲載いたしましたので、推薦書類はそこからダウンロードしてください。今後、募集要項に変更がある場合は、ホームページに掲載いたしますので、応募の際はホームページをご確認ください。電子メールによるお知らせ、雑誌等への掲載文の例を下記に掲げさせていただきます。何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

記

- 1) 対象: 推薦締切日に50歳未満で、自然科学の分野で、優れた研究業績を収めている女性科学者
- 2) 表彰内容: 賞状、副賞として賞金30万円、1件(1名)
- 3) 応募方法: 当会のホームページ <http://www.saruhashi.net/> から推薦書類をダウンロードし、A4用紙に印刷して、①推薦者(個人・団体、自薦も可)・受賞候補者の略歴・推薦対象となる研究題目②推薦理由(800字程度)、および③研究題目に関連する主な業績リスト(指定は1頁です。やむを得ない場合でも追加は1頁までです)を記入して、主な論文別刷10編程度(2部ずつ、コピーも可)を添え、5)の推薦書類送付先までお送りください。

- 4) 締切日: 2010年11月30日

5) 推薦書類送付先:

〒247-0022 横浜市栄区戸戸 5-14-3

女性科学者に明るい未来をの会
(封筒には、「猿橋賞推薦書類」と明記してください。書類は、猿橋賞選考のためにのみ選考委員会などで用いられます。書類は返却いたしませんのでご了承ください)

今後、募集要項に変更がある場合は、ホームページに掲載いたしますので、応募の際はホームページをご確認ください。

なお、この件についての問い合わせは、下記に電子メールでお願いいたします。

saruhashi2010@saruhashi.net

研究会・集会案内

東京大学天文学教育研究センター木曾観測所
および名古屋大学太陽風観測所の特別公開のお知らせ

東京大学木曾観測所および名古屋大学太陽風観測所を一般の皆様へ公開いたします。当日は、普段近くで見ることのできない望遠鏡や観測装置を間近に見ることができるほか、天文講演、研究紹介なども行われます。

日時: 2010年8月7日(土) 10時~18時
天体観望会(雨天中止) 19時30分~21時30分
8月8日(日) 10時~16時30分

開催場所: 東京大学木曾観測所および名古屋大学太陽風観測所

〒397-0101 長野県木曾郡木曾町三岳 10762-30

公開施設と内容:

- ・木曾観測所ドームおよび望遠鏡の見学と説明
- ・太陽風観測所アンテナの見学と説明
- ・教育・研究活動の紹介、天体写真の展示
- ・講演会

交通機関: JR 中央西線木曾福島駅または上松駅から車で約30分

問合せ先: 東京大学木曾観測所

Tel: 0264-52-3360 Fax: 0264-52-3361

木曾観測所ホームページ:

<http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/>

太陽風観測所ホームページ:

<http://www.stelab.nagoya-u.ac.jp/>

※なお、申込みは不要、入場無料です。ただし売店、食堂はありません。

国立天文台野辺山 特別公開のお知らせ

自然科学研究機構 国立天文台
野辺山宇宙電波観測所
野辺山太陽電波観測所

国立天文台野辺山観測所では、日頃行われている天体観測の様子や、最新の天文学研究の成果をより広く知っていただくため、下記の要領で観測所施設の特別公開を行います。暑い季節ですが、涼しい野辺山高原でみなさまのご来場をお待ちしています。

記

1. 日 時 2010年8月21日(土) 午前9時30分～午後4時(入場は午後3時30分までです)
2. 場 所 国立天文台野辺山
3. 展示・見学
通常の見学コースに加えて、45メートル電波望遠鏡や電波ヘリオグラフの各観測室などを見学できます。また、宇宙・太陽からやってくる電波をとらえる観測装置の仕組みや最新の研究成果を実験と展示で解説します。スタンプラリーや質問コーナーなどもあります。
4. 講演会等
☆特別講演会 11:00～12:00
「天文学最前線—ダークエネルギーから地球系外生物の探査まで—」
観山正見(国立天文台長)
☆特別ライブ 14:00～15:00
「星空の詩 2010 in Nobeyama～宇宙の声に耳を澄まして～」
清田愛未(シンガーソングライター)
牛山俊男(自然写真家)
5. 交 通
*鉄道 JR 小海線野辺山駅下車 徒歩30分(駅から無料シャトルバス運行)
*自動車 東京・名古屋方面から: 中央自動車道長坂インターから清里高原道路を経て約20km。または、中央自動車道 須玉インターから国道141号線を白田・佐久方面へ約30km。群馬方面から: 上信越自動車道 佐久インターから国道141号線を白田・清里方面へ約50km。
6. ご注意
*入場無料・雨天決行。

- *スリッパを各自ご持参ください。
- *講演会等は会場の関係で定員があります。整理券は当日発行する予定です。
- *天文台内では食事の提供・販売はいたしませんので、ご了承ください。
- *天文台入口駐車場は大型バス・障害者専用となります。その他の自動車の方は、旧野辺山スキー場の駐車場を利用していただく予定です。スキー場から観測所まで無料シャトルバスを運行します。
- *当日は会場準備の都合上、一般公開は実施せず、午前9時30分から午後4時のみの開場となります。

7. その他
諸事情により、中止になる場合もあります。
8. 問合せ先
国立天文台 野辺山
〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山462-2
Tel: 0267-98-4300(代表)
URL: <http://www.nro.nao.ac.jp>
(詳細は随時インターネットホームページでお知らせしますのでご参照ください)

国立天文台 岡山天体物理観測所・岡山天文博物館 特別公開 2010のご案内

- 日 時: 2010年8月28日 土曜日 9時30分～16時30分(雨天決行)
- 場 所: 岡山県浅口市鴨方町本庄 国立天文台 岡山天体物理観測所 岡山天文博物館
- 共 催: 浅口市教育委員会
後 援: 矢掛町教育委員会
内 容: 岡山天体物理観測所では
特別講演 12時30分から13時30分
講師 長田哲也(京都大学大学院理学研究科 教授)
188cm 反射鏡見学 11時15分から 14時30分からの2回
国内最大級188cm 反射望遠鏡とドーム内の公開、天文質問コーナー、など
岡山天文博物館では、
プラネタリウム投映 9時30分から16時 30間毎日
天体・星座ビンゴゲーム 10時30分から 13時から 15時30分からの3回
15cm 屈折望遠鏡による太陽観測(晴天時のみ)、天文クイズラリー、天文工作、など

詳しくは観測所ホームページをご覧ください。

入場料：無料

駐車場：普通車約 30 台駐車可（当日は混雑が予想されます）

無料シャトルバス：JR 鴨方駅前⇄浅口市中央公民館北側⇄観測所、で運行します。出発時間は観測所ホームページでご確認ください。なお、浅口市中央公民館北側（浅口市天草公園）には無料駐車場があります。

注 意：会場内に食堂はありません。（清涼飲料水の自動販売機あり）

会場内は禁煙です。（駐車場内に喫煙所を設置します）

問合せ：自然科学研究機構 国立天文台 岡山天体物理観測所

〒719-0232 岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5

Tel: 0865-44-2155 [代表]（平日の 10:15~17:15）

Fax: 0865-44-2360

URL: <http://www.oao.nao.ac.jp/>

「星間物質ワークショップ 2010」のお知らせ

協 賛 日本天文学会, 日本化学会, 原子衝突研究協会

会 期 9月13日(月) 午前~9月15日(水) 午後(予定)

会 場 北海道大学低温科学研究所

宇宙は極限環境下の「実験室」として、これまでに多くの新しい問題を化学の広い分野に提起してきました。また、同時に、原子や分子の物理・化学的素過程の理解は天文学や惑星科学の研究に不可欠です。このワークショップは、広い意味で宇宙の化学・物質に関心をもつ研究者、大学院生、学生の方々が、それぞれの研究成果や問題意識を持ち寄り、交流する機会として企画しました。とくに物質レベル、原子分子レベルでの実験・理論研究の展開に焦点を合わせ、現在・あるいは将来の宇宙観測とのつながりを探りたいと思います。化学、惑星科学、物理学、天文学の広い分野の方々の参加を歓迎します。

参加申込、講演申込の締切 8月20日(金)

(詳細は下記ホームページをご参照ください)

世話人 渡部直樹(北大低温研)、相川祐理(神戸大理工)、高野秀路(国立天文台/総研大)

問合せ先 北海道大学低温科学研究所 渡部直樹

Tel: 011-706-5501

ホームページ: <http://www.lowtem.hokudai.ac.jp/astro/ISM2010/>

第 28 回 Grain Formation Workshop/平成 22 年度銀河のダスト研究会

ダスト(宇宙塵)は、惑星形成から銀河進化に至るあらゆる天体(or宇宙)現象において大変重要な構成要素です。昨年度、ダストの実験、観測、理論研究者が集い、互いの知見を交換する Grain Formation Workshop と、銀河スケールでのダストの影響を議論する銀河のダスト研究会の共催により、あらゆる天体現象におけるダスト研究を包括的に議論する研究会が行われ、異なる分野からの参加者が集まり活発な議論が行われました。

昨年度の研究会については、以下のページをご参照ください:

<https://www.cps-jp.org/~gfw/2009-10-08/>

本年度もダストに関する研究について、あらゆる分野の最新情報を共有するため、Grain Formation Workshop と銀河のダスト研究会を共催で開催いたします。本年度は惑星科学研究センター(神戸)にて開催いたします。ダスト研究に関心のある多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 時: 平成 22 年 9 月 1 日(水) 午後から 3 日(金) 午後

場 所: 惑星科学研究センター

会場アクセス: <https://www.cps-jp.org/access/>

招待講演者と依頼内容(敬称略、実際の講演内容等については変更の可能性もあります):

今村 宰(東京大学)

極超音速高エンタルピー風洞における実験

金田英宏(名古屋大学)

星間ダスト・PAH の進化と破壊の観測

左近 樹(東京大学)

WR140 周囲でのダスト形成

竹内 拓(東京工業大学)

ダスト成長と惑星形成

竹内 努(名古屋大学)

銀河のダストの諸問題

平下博之(台湾中央研究院)

星間乱流とダストサイズ分布

世話人リスト: 山本哲生(北大/CPS) 井上昭雄(大阪産業大) 木村 宏(CPS) 三浦均(東北大) 奥住 聡(名大) 武藤 恭之(東工大)

会 務 案 内**2010 年度内地留学奨学金支給者の選考結果**

内地留学奨学金選考委員長 岡崎 彰

2010 年度の応募者は 1 名でした。選考委員会で研究計画、奨学金の用途について詳細に吟味、検討した結果、下記のように決定しましたのでご報告いたします。

氏 名：小野夏子

職 業：公立教育科学館 科学指導員

研究題目：惑星状星雲の分類とデータベース化

受入機関および指導教員：放送大学 吉岡一男

支給金額：12 万 8 千円

2011 年度内地留学奨学金の希望者の募集

この奨学金は主として学校の教員、科学館・プラネタリウム・公共天文台などの社会教育施設の職員などやアマチュア天文研究者の方々の研究活動・調査活動を支援する制度です。学生の応募も可能です。この奨学金を受給された場合、日本国内の大学や天文台などの研究機関を利用し、そこの研究者の指導を受けて研究活動を行うこととなります。いままで、多くの方がこの制度を利用して、それぞれ関心をお持ちのテーマで研究をされてきました。奮って、ご応募ください。研究をしてみたいがその内容にふさわしい機関や指導者が分からないという場合は、内地留学奨学金選考委員長に相談してください。過去の奨学金の対象となった研究テーマは本会の会員名簿の巻末、および学会ホームページに掲載されています。

募集要項

応募資格：日本天文学会員

採 択 数：若干名

留学期間：2011 年 1 月から 1 年間のうち希望する期間。

受入研究機関、指導教員(受入研究者)と相談の上、夏休みなどの長期休業時に集中させたり、週に 1 回程度の研究日を設定するなどの方法が考えられます。研究終了後、2 カ月以内に研究報告書の提出をお願いいたします。

支 給 額：25 万円以下。支給は 2011 年 1 月を予定。

申 込 み：応募申請書に必要事項を記入し、指導教員の捺印とコメントを得た上、

〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台内 日本天文学会 理事長 宛

に郵送してください。

応募締切：2010 年 8 月 27 日(金) 必着。

審 査：内地留学奨学金選考委員会(内規第 5 条)で審査の上、決定し、10 月中旬に通知します。

応募用紙：日本天文学会事務室にあります。(学会事務室に連絡をくだされば、お送りします。)申請書の書き方の例もありますので、ご請求ください。なお、天文学会の会員名簿の巻末に内地留学奨学金に関する内規があります。

ご相談・問合せ先：

内地留学奨学金選考委員長 岡崎 彰

(〒371-8510 前橋市荒牧町 4-2 群馬大学教育学部理科教育講座)

Tel: 027-220-7292 Fax: 027-220-7222

e-mail: okazaki@edu.gunma-u.ac.jp

天文学会事務所 Tel: 0422-31-1359

Fax: 0422-31-5487 e-mail:jimu@asj.or.jp

編集委員会より**天文月報表紙デザイン案大募集!**

2011 年 1 月号から 12 月号までの表紙を飾るデザインを募集します。表紙は、題字(『天文月報』の文字)、号数、日本天文学会のロゴマーク、記事タイトル、カラー写真および背景イラストから構成されます。毎月違うイラストでも、同じデザインで色違いでも構いません。具体例は、今年または過去の天文月報をご覧ください。

(天文月報のホームページのバックナンバー (<http://www.asj.or.jp/geppou/contents/index.html>) に表紙画像があります。)

応募される方は、次ページの天文月報投稿用アップローダーまで、表紙デザイン案の画像ファイル、およびそのコンセプトをお送りください。形式は問いません。雑誌のサイズは、B5 判タテ(182 ミリ×257 ミリ)です。採用された方には、規定の謝礼をお支払いします。

また、採用者をご紹介いただいた会員の方には粗品を差し上げます。

締切り：2010 年 9 月末日

送り先：天文月報編集委員会

以下の天文月報投稿用アップローダーまで

天文月報記事投稿用アップローダー

このたび天文月報では、投稿者側と編集委員会側の双方の利便性を考え、記事投稿用のアップローダーを設けてあります。今後は月報に記事をご寄稿いただく場合には、下の手順に従って行っていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

■アドレスとログイン方法

<http://www.asj.or.jp/geppou/toukou/index.php>

login: geppou passwd: toukou

■アップロードの方法

まず、記事の内容や著者のご連絡先に関する表の記入欄を埋めてください。この欄が埋まっていないと、ファイルをアップロードすることができません。投稿するファイルが複数ある場合には「複数のファイルを投稿する」ボタンを押してください。押す度に投稿

ファイル欄が増えます。1回あたり合計最大20Mバイトまで送信できます。それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむを得ない場合は分割してお送りください。

■ご注意

投稿者の個人の認証は cookie を利用しています。したがって cookie を受け取らないブラウザでは使えません。またフォームの確認や可変個数のアップロードボックスは javascript を利用していますので javascript が使えなければこのアップローダーは使えません。そのような場合は、従来どおり toukou@geppou.asj.or.jp までメールでご投稿ください。

■ご連絡先

本アップローダーに関するご質問は toukou@geppou.asj.or.jp までお願いします。

児玉忠恭（天文月報編集長）

天文月報オンライン/投稿用アップローダーの ID とパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード（5桁の数字と）vol98（5文字）の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

児玉忠恭（編集長）、浅井 歩、柏川伸成、衣笠健三、鈴木 建、徂徠和夫、竹井 洋、野田寛大、浜名 崇、三好 真、山崎 了、吉田直紀

平成22年7月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社

定価700円（本体667円） 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）／0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

©社団法人日本天文学会 2010年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）